

外来医師担当表

平成27年6月1日現在

診療受付時間 平 日 午前8時45分～11時30分 午後1時～3時  
土曜日 午前8時45分～11時

	月	火	水	木	金	土
内 科	脇田教授	中野准教授	脇田教授	脇田教授	中野准教授	交代制※1)
緩和ケア・外科	東口教授	中川医師	伊藤准教授	大原講師	都築医師	阿波医師
リハビリテーション科	前島教授	前田医師	岡崎准教授	岡本講師	園田教授	交代制※2)
歯 科	金森講師	金森講師	金森講師	金森講師	休 診	金森講師
ものわすれ外来 (予約制)	脇田教授 隔週15:00～16:30		脇田教授 第1・3週13:00～16:00			
セカンドオピニオン外来	園田教授 リハビリテーション全般 (不在の週あり)	東口教授 癌全般、消化器疾患、栄養疾患 15:00～16:00※予約制 脇田教授 認知症、神経疾患 15:00～16:00※予約制				

※1) 内科:土曜日は脇田教授・中野准教授が交代で診察します。

※2) リハ科:土曜日は第1,3,5週:水野医師、第2週:浅野医師、第4週:角田医師が交代で診察します。

ものわすれ外来の予約は**059-252-1555**までお問合せください。

看護師就職説明会

場所 藤田保健衛生大学七栗サナトリウム  
時間 10:00～12:00

平成27年 6/27<sup>+</sup>・7/25<sup>+</sup>・8/22<sup>+</sup>・9/26<sup>+</sup>・10/24<sup>+</sup>・11/28<sup>+</sup>・12/19<sup>+</sup>

平成28年 1/23<sup>+</sup>・2/27<sup>+</sup>・3/26<sup>+</sup>

スケジュール

- 10:00～10:50 病院見学・看護部紹介  
教育体制、人事概要の説明
- 10:50～11:30 病院内見学
- 11:30～12:00 先輩看護師との交流会  
※都合により、変更の可能性があります。

交通案内: 下記アクセスをご覧ください。近鉄久居駅・榊原温泉口までお迎えに上がります。

お問合せ 看護部・人事担当 メール [hp4kango@fujita-hu.ac.jp](mailto:hp4kango@fujita-hu.ac.jp)

中途採用・潜在看護師大歓迎です。採用試験は随時実施しています。  
お気軽にお問合せください。



- 公共交通機関
  - 名古屋・伊勢方面から  
近鉄名古屋線 久居駅下車、バス榊原温泉口・榊原車庫前行(下村経由)に乗りし「七栗サナトリウム前」下車、徒歩約3分  
※バス乗車時間約20分、タクシー乗車時間約15分
- 乗用車
  - 大阪・京都方面から  
近鉄大阪線榊原温泉口駅下車、タクシー乗車時間約15分
  - 伊勢自動車道  
久居インターチェンジより7km約10分

facebook

セミナーの案内や、イベントの報告、就職説明会の開催情報の発進サイト

Facebook「藤田保健衛生大学七栗サナトリウム」  
<http://www.facebook.com.nanakuri>

編集 藤田保健衛生大学七栗サナトリウム広報委員会  
発行人 園田 茂  
〒514-1295 三重県津市大鳥町424番地の1  
電話 059-252-1555(代表)  
FAX 059-252-1383  
<http://www.fujita-hu.ac.jp/HOSPITAL4/>

患者さまと医療をつなぐ

広報誌

ななくり

Pick UP

緩和ケア外来とは？

本邦に誇れる緩和医療の実践を目指して



副院長  
外科・緩和医療学講座教授  
東口 高志

当院は、1997年大学病院として本邦で初めて認可を受けた歴史と風格のある緩和ケア病棟を有しています。その礎をもとに、2003年より本邦初の緩和医療学講座として診療、研究に邁進し、早10年超が経過しました。その結果、時代の流れにもマッチして、緩和医療は、ケアだけでなく医学的根拠にも基づいた新しい領域の医学として、手術、放射線、抗がん剤、免疫療法とともに、がん治療の一つとして並び称せられるようになりました。今後も、様々な苦痛や苦悩を伴うがん患者さん及びそのご家族に対し、QOL(生活の質)向上を第一に考え、本邦に誇れる緩和医療、緩和ケアを提供していきたいと考えています。



緩和ケア認定看護師  
近藤 千恵

緩和ケア認定看護師として、昨年の4月より緩和ケア病棟に勤務しています。病棟では、スタッフと共に患者さまの苦痛を和らげる方法を考え、患者さまが少しでも穏やかな日常生活が送れるよう援助しています。緩和ケア外来では、入院相談にみえた患者さま・ご家族の不安な思いを伺うと共に、緩和ケアの情報提供や病棟を案内いたします。少しでも、患者さま・ご家族の力になればと思っています。いつでも気軽に声をかけてください。



### 一般の方へ

緩和ケア外来では、『体のつらさ』、『心のつらさ』だけでなく、在宅で過ごしたいがどうすればいいかなどの『生活のつらさ』など、様々なつらさを和らげるための援助を行います。がんが進行した段階からではなく、がんと診断された段階から、治療と共に緩和ケアを受けることが推奨されています。そのために、様々なつらさを少しでも楽にして、患者さまやご家族の生活が豊かとなるようお手伝いいたします。

### 一般の方へ

外来において栄養管理、疼痛コントロールへの対応を医師、管理栄養士、薬剤師など他職種とともに支援いたします。症状コントロールをして患者さまとご家族にとって出来る限り在宅生活が充実いただけることを目指して看護介入いたします。

(外来 看護長 川北美奈子)

### 医療従事者の方へ

入院相談だけではなく、治療を後押しできる栄養管理の充足、疼痛コントロールなど外来通院での対応もいたします。終末期に限らず患者さまとご家族の意思を尊重して最後まで充実した時間が得られるように外来でも支援いたします。



### 医療従事者の方へ

緩和ケア外来では、全人的疼痛を中心に考え医療、ケアを行っています。すなわち、疼痛管理だけでなく、精神的ケア、加えてサルコペニア予防、ADL向上のための栄養管理まで、他職種協同（医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、臨床検査技師、MSW、事務職員）で対応しています。患者、家族だけでなく、前医、在宅医のあらゆるNeedsに合わせ、様々な要求を少しでも成就できるよう進めていきたいと考えています。

### 一般の方へ

緩和ケア病棟への入院に関するご相談（各種制度の活用、経済、療養環境など）や患者さま・家族様が通院しながら住み慣れた地域で安心して生活を過ごせるよう様々な相談に随時応じています。

(医療ソーシャルワーカー 主任 下村康氏)

### 医療従事者の方へ

病院の特性上、県内・外の地域より多くのご相談が寄せられているため、患者さまが生活する地域資源の情報収集、各医療・介護・福祉機関との連携強化にむけた取り組みを行っています。今後も、地域で安心して生活するために当院の緩和ケア病棟としてできることを考え、皆様と連携しながら進めていきます。



## 緩和ケア外来とは？

医療従事者がおこたえします

一般の方へ

がんが診断された段階から、緩和医療は始まります。病気に伴う症状から、治療に伴う苦痛症状まで対応いたします。また、食事が食べられなくなってきた、体が弱ってきたといった相談にもお応えしますので、我慢や無理はされず、早めにご相談ください。症状が強くて自宅での療養が難しい場合には、短期間の入院にも対応いたします。

医療従事者の方へ

がんが診断された段階から、いつでも緩和医療を提供いたします。まだ治療中であっても、諸症状の軽減方法、専門的な栄養療法をご提案いたします。早めの段階から患者さまをご紹介いただけますと、治療継続のサポートや、終末期へ移行する際にもスムーズに対応できますので、よろしくお願いいたします。

(緩和ケア・外科 医師 阿波宏子)

一般の方へ

入院手続きの流れや諸手続きについてご相談ください。医療費算定や診断書・証明書の受付窓口が主な業務ですが、診療予約の可否のご説明など、各部門の専門担当者へご案内いたします。お気軽にお問い合わせください。

医療従事者の方へ

入院に必要な手続きや費用についてお尋ねください。患者さまの保険証や受給証・認定証を確認し、概ねの費用や書類の説明いたします。その他にもご相談の際は、専門の窓口担当者までご案内いたします。

(医事課 橋爪佳代)

### リハビリコーナー

#### 装具とは

装具とは、脳卒中などにより運動麻痺が生じた場合に、足に装着する道具です。立位・歩行に必要な足の機能をサポートします。同じ装具でも、素材や特性は様々であり、患者さまの動き具合に合わせて決定いたします。当院には、たくさんの評価用装具がありますので、履き比べることができます。装具を使用して、効率の良いリハビリを提供いたします。



### 緩和ケアコーナー 緩和ケアの食事

栄養管理はもちろんのことですが、それ以上に患者さまがこれまでの食生活を「緩和ケア」病棟でも継続していただけることを大事に思い、食事を作っています。普段慣れ親しんでいる味噌汁やカレーライス、茶碗蒸し等をお出することで患者さまは喜ばれます。また飲み込みが難しくなった患者さまにも、食材の形のある摂食回復支援食「あいーと」を提供することで、患者さまだけでなくご家族さまにも喜んでいただいています。

